

(別紙様式1)

### 令和4年度学校評価実施計画

学校名 大分県立中津支援学校

前年度評価結果の概要	<p>○新様式による個別の指導計画の作成は、一定の成果があった。ただし、次年度は、活用、共有、授業の深まりをねらうために、さらに研究・研修をすすめる。</p> <p>○タブレット端末の環境整備では、一定の成果があった。次年度は、ニーズに応じたグループ研修の実施により、教員の活用力を高める。また、高等部の配備に向けた取組が更に必要と考える。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症では、指針の策定・実施により、授業や活動の保障しながら予防に努めることができた。次年度も引き続き、指針の改訂、実施を行う。</p> <p>○教員のヒヤリハットの取組は定着してきた。次年度も引き続き行う。また、高等部で実施した児童生徒のヒヤリハットの取組のノウハウを小中学部へも引継ぎ、さらなる安全・安心な学校づくりに取り組む。</p> <p>○業務削減・業務改善により、児童生徒に向き合うための時間を確保することをねらう。</p> <p>○学校の立地条件を活かし、地域と連携したキャリア教育をすすめていく。</p>
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
児童生徒一人一人の能力や特性に応じた教育を行い、その可能性を伸ばし、自立と社会参加を目指す人間を育成する。	<p>○個の実態や特性を踏まえ、教育的ニーズに応じた質の高い教育活動の展開</p> <p>○生活保障・進路保障に向けた進路支援の充実</p> <p>○安全・安心な学校づくりのための教育環境の整備・改善・充実</p>	<p>○「『わかる・できる』を感じる」力の育成</p> <p>○「『健康で安全』に生活する」力の育成</p> <p>○児童生徒に向き合うための業務改善の推進</p>

PL: プロジェクトリーダー、SL: サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
「分かる・できる」を感じる力の育成	<p>&lt;児童生徒&gt;</p> <p>【小】題材目標に対する肯定的な言動の変容80%</p> <p>【中・高】目標に対する肯定的な自己評価(わかった、できた等)80%</p> <p>&lt;教員&gt;年間指導計画のPDCA100%</p>	○年間指導計画の系統性についての改善	<p>○4月:研修部が実施内容・計画を立案、周知</p> <p>○5月:GLがアンケート項目の検討、決定</p> <p>○5~6月:グループでの個別の指導計画の検討</p> <p>○7月:グループでの1学期評価→年間指導計画の検討・改善</p> <p>○9~12月:全教員での授業実践、2学期評価→年間指導計画の修正・改善</p> <p>○1月:グループでの年間評価→R5年度年間指導計画作成</p> <p>○2月:研修部がまとめ、周知</p>	PL 研究・研修部(学校研究担当) SL 各GL(研究・研修部員) 研究・研修統括主幹教諭
	<p>&lt;児童生徒&gt;</p> <p>【小】地域の人に「あいさつができた」の回答率80%</p> <p>【中】「校外で安心して活動できた」の回答率80%</p> <p>【高】「地域の人から学んだ」「校外で主体的に活動ができた」の回答率80%</p>	○地域と連携したキャリア教育の立案・実施	<p>○4月:SLが各学部で立案</p> <p>○5月:PLSLが実施内容を学部会・職員会議で周知・共有</p> <p>○6月:地域への依頼・説明・打合せ</p> <p>○7月:各学部ごとに実行</p> <p>【小】校外学習での交通指導</p> <p>【中】校外学習での交通指導</p> <p>【高】作業学習・職業</p> <p>【全校】地域クリーン活動、スクールサポーター事業</p> <p>○1月:各学部で実施した児童生徒に取組アンケートの集約と評価</p>	PL 教頭 SL 各学部主事(主幹教諭) 特別活動主任 特別活動部員(担当者)
「健康で安全」に生活する力の育成	<p>&lt;児童生徒&gt;</p> <p>児童生徒からのヒヤリハット報告40件</p>	○児童生徒の安全教育の推進	<p>【児童生徒会:保健体育委員会】</p> <p>○5月:委員会・担当教員がヒヤリハット報告(児童生徒用)を立案</p> <p>○6月:委員会が全校集会で報告の目的・報告方法を周知</p> <p>○7月~:実行・評価・改善</p> <p>○12月:委員会が全校集会でまとめを発表</p> <p>【高等部】</p> <p>○6月:ヒヤリハット報告(生徒用)を周知</p> <p>○7月~:実行・評価・改善</p>	PL 特別活動部員 (児童生徒会保健体育委員会担当) SL (小) 児童会担当 (中) 生徒会担当 (高) 作業学習担当 特別活動主任
児童生徒に向き合うための業務改善の推進	時間外勤務の減少(前年比5%減)	○業務削減・業務改善の立案・実行	<p>○5月:職員会議でPLが「業務削減」「業務改善」の立案・周知</p> <p>○6月:保護者説明実施</p> <p>○7月~:全体・分掌・学部による実行</p> <p>毎月の時間外勤務(学校平均・学部平均・個別)を算出</p> <p>R3年度とR4年度の月ごとの時間外勤務を算出</p> <p>○8月:教職員への面談による進捗状況の確認実施</p> <p>○1月:教職員への面談による進捗状況の確認実施</p> <p>○1月:R3年度とR4年度の月ごとの時間外勤務を算出</p>	PL 教頭 SL 各副学部主事